

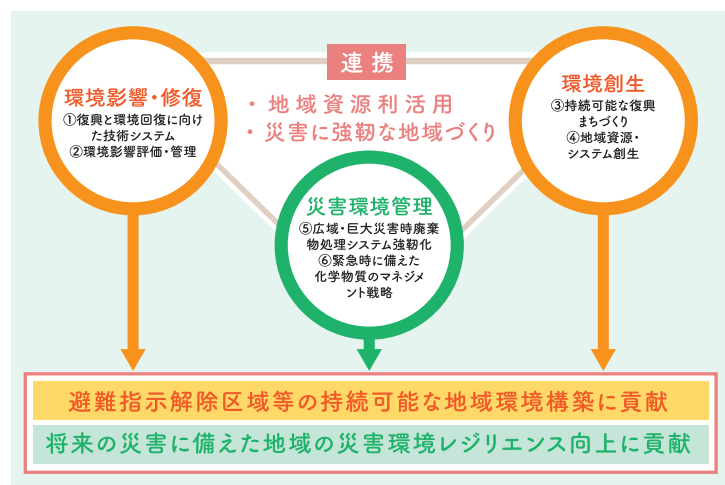
福島地域協働研究拠点

国立環境研究所は、幅広い環境研究に取り組む国内唯一の研究所として、1974年に茨城県つくば市に発足しました。東日本大震災の発生を契機として、被災地に根ざした調査研究を継続的に進めるため、2016年度に福島県環境創造センター研究棟内に福島地域協働研究拠点（当初の名称は福島支部）を開設し、福島県や日本原子力研究開発機構をはじめとする関連機関や様々な関係者と力を合わせて、被災地の環境回復と環境創生に向けた災害環境研究に取り組んでいます。



災害環境研究

国立環境研究所では、東日本大震災発生直後から、被災地支援のための災害環境研究を行ってきました。その研究成果を最大限活用して、福島県の環境復興へ着実に貢献するため、「地域協働」をキーワードとして、図に示す環境影響・修復研究、環境創生研究、災害環境管理研究の3つの研究に取り組むとともに、自治体・研究機関・民間機関などと連携・協力しながら、総合的な研究活動を推進しています。



廃棄物・資源循環研究室

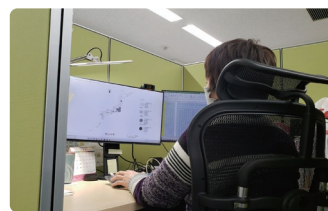
放射性物質に汚染された廃棄物・土壌などの発生から、適正な管理・処分に至るまでに必要な技術・システムの開発・評価を総合的にを行います。

研究01 県外最終処分に向けた技術開発



除去土壌や汚染廃棄物の県外最終処分に向けた減容化等技術開発ならびに除去土壌などの再生利用における環境安全性の研究を進めます。

研究02 廃棄物処理等による放射性セシウム収支の調査



除染、廃棄物処理に伴う放射性セシウムの動きを把握し、自然環境中や復興に伴う放射性セシウムの動きと併せて見える化します。

研究03 原子力災害で発生する汚染土壌や廃棄物の予測



放射能汚染土壌や廃棄物の処理を記録・検証し、将来の事故時の発生量予測や処理計画策定に向けた経験知として発信します。

環境影響評価研究室

被災地における環境中の放射性物質の動態、生態系の変化、被ばく量などを明らかにし、生活環境リスクの評価とその管理手法の構築・提言を行います。

研究01 山菜・キノコの利用リスクの軽減



野生の山菜やキノコへの放射性セシウム蓄積特性を解明し、それを活かして蓄積低減手法の開発を進めます。

研究02 淡水魚の放射性物質の将来予測



放射性セシウムの水中の動態と淡水魚への移行経路を明らかにし、濃度の将来予測と除染による費用便益を評価します。

研究03 避難指示区域内外の生態系・感染症の調査



里地里山の生物群のモニタリングと動態モデリングを介して、被災地域に適用可能な生態系管理指標の提案とその検証を行います。

地域環境創生研究室

地域の特徴を活かし、環境に配慮した復興を支援するため、地域診断、将来シナリオの作成、再エネ・省エネなどの脱炭素な地域事業設計、住民が参画できる計画づくりを行います。

研究01 避難指示解除区域の地域資源・システム創生



地域との協働により地域資源を安全に利活用可能な技術導入とそれを支える地域社会システムの創生に関する研究を進めます。

研究02 地域再生と持続可能な街づくりの将来ビジョン



地域の暮らしに最新技術を融合させ、環境・経済・社会の課題を解決しながら復興を進める方法を研究します。

研究03 福島県内市町村の環境計画・環境政策調査分析



市町村の環境に関する計画・政策と、それらに取り組む関係者の連携やネットワークを調査・分析します。

地域協働推進室

調査・研究に関する情報発信や、地域の様々な関係機関との対話や協力による研究を推進し、福島地域協働研究拠点と地域のステークホルダーとの「橋渡し」を担っています。主に、以下のような取り組みをしています。

【取り組み】

- ① 情報発信
- ② リエゾン
- ③ 研究/協働コーディネート
- ④ コンテンツデザイン・制作
- ⑤ 交流企画プロデュース
- ⑥ 協働窓口

連携・コーディネート

- 学校
- 民間企業、NPO等の活動団体
- 学術研究機関
- マスメディア
- 自治体



ステークホルダー会合の様子



高校生との協働プログラム「環境カフェふくしま」の様子

環境の“知”を、 地域とともに。



わたしたちは2011年、東日本大震災の直後から
ふくしまの環境の回復と創生のための
取り組みを進めてきました。



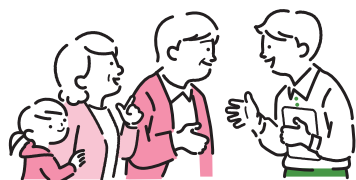
広大なふくしまのいろいろな地域へ
わたしたちは直接、足を運びます。

住民の皆さんとともに地域の課題へ向き合い、
互いの“知識と知恵”を響かせ合い、
未来につながる環境の“知”をともに築き、
地域のために活かしていきます。



ふくしまの環境がより良くなるように。
安心な暮らしと豊かな社会が広がるように。
世界各地の地域づくりの礎となるように。

わたしたちは「地域協働」の研究拠点として
歩み続けます。



WEB MAGAZINE

ふくしまの環境とその研究を知ろう！
研究を紹介する記事や動画などを公開

「ふくしまから地域と環境の未来を考える」をコンセプトに、福島から環境問題と地域創生について考え、対話するきっかけとなる情報を発信！国立環境研究所 福島地域協働研究拠点が運営するWEBマガジンです。

知識を
深める情報は
こちらから

ふくしまから地域と環境の
未来を考えるWEBマガジン

FRECC+
フレックプラス



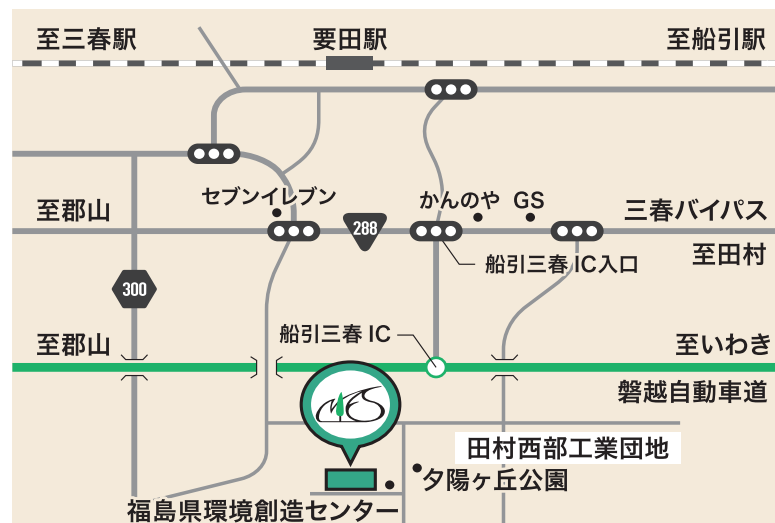
<https://www.nies.go.jp/fukushima/magazine/>

ACCESS

■電車をご利用の場合

郡山駅→JR磐越東線(約20分)→三春駅→タクシー(約12分)→環境創造センター
郡山駅→JR磐越東線(約30分)→要田駅→タクシー(約7分)→環境創造センター

■自家用車をご利用の場合 磐越自動車道・船引三春ICから5分



国立環境研究所
福島地域協働研究拠点

〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10-2

[TEL] 0247-61-6561

[mail] fukushima_po@nies.go.jp

<https://www.nies.go.jp/fukushima/>



環境の“知”を、
地域とともに。



国立環境研究所
福島地域協働研究拠点